

インフルエンザ施設別発生状況 (報告)

( ) 保健所 あて 報告週 [ 月 日 (月) ~ 月 日 (日) ] 報告日 月 日 (P. )

Table with 9 columns: 事実発生日, 閉鎖期間, 閉鎖区分 (該当するものに○), 学級数, 学級名, 在籍者数 (区分単位), 患者数, 欠席者数, 備考 (症状等). The table contains 5 rows of placeholder data with slashes and tildes.

【記入上の注意】 ☆週報は、翌週の月曜日午前中に、管轄の保健所へ必着するよう、FAXもしくはメールをお願いします。(月曜日が祝日の場合は、翌火曜日の午前中)

- 1. この表は、月曜日から始まり、日曜日に終了する1週間毎に記入すること。
2. 当該週に発生したものについて、記入すること。
前週から今週に継続したものは計上しない。前週内に終息しかつ今週再発したものと及び週を隔てて今週に再発したものは計上する。
3. 学級数は、休校又は学年閉鎖の場合に記入し、学年閉鎖のみの場合には、学級名欄に学年を記入すること。
4. 在籍者数、患者数及び欠席者数(以下「患者数等」という。)は、次により記入すること。
(1) 学級閉鎖を行った場合の患者数等は、当該学級閉鎖される直前の学級の患者数等であること。
(2) 学年閉鎖を行った場合の患者数等は、当該学年閉鎖される直前の学年の患者数等であること。
(3) 休校の措置がとられた場合の患者数等は、当該休校となる直前の学校の患者数等であること。
(4) 同一施設で同一週に複数の「休業措置」が行われた場合、それぞれ別の行に入力してください。
(例1) 火曜日に学級閉鎖、水曜日に学年閉鎖になり、木曜日に休校となった場合⇒火曜日～学級閉鎖、水曜日～学年閉鎖、木曜日～休校とし、3行に分けて記入する。
(例2) 火曜日～水曜日に学級閉鎖、木曜日に解除、金曜日に同じクラスが学級閉鎖の場合⇒別の行に、それぞれの閉鎖期間分記入する。
5. 患者数は、欠席者数+り患登校者数(インフルエンザ様疾患\*を示しながらも登校した者の数)です。必ず 欠席者数 ≤ 患者数 となります。
欠席者数が患者数を上回ることのないようご注意ください。
6. 本報告の対象は、インフルエンザ様疾患\*であり、インフルエンザに無関係の症状(下痢など)やけがによる欠席者は含めないでください。
7. エクセルで表を作成する場合、報告数が多い際は、行を挿入して1枚のシートにまとめて下さい。
ただし、報告用のシートに列を挿入したり、セルの結合・フィルターの設定などはしないでください。また、セル内で改行をしないでください。
8. その他、厚生労働省作成のインフルエンザ施設別発生状況調査に係るQ&Aを参照してください。(問1、問4は対象外)
\*インフルエンザ様疾患：38度以上の発熱かつ急性呼吸器症状(鼻汁、鼻閉、咽頭痛又は咳のいずれか1つ以上)

Form box containing fields for: 報告施設名, 所在地(市町村名), 報告者お名前, 部署名, 電話.